

TRICOLOR

カヌー教室のご案内

大好評のカヌー教室を今年も下記のとおり開催します。お誘いあわせの上ぜひお越しください。

■期日/8月2日(日)

※荒天時は中止。

なお、サッカークラブの活動は 8/1(土)に行い、この日はお休みとなります。

■会場/県立宮ヶ瀬湖カヌー場

■集合・解散

9:30 現地集合・15:30 現地解散

■対象

成人 1~2名と未成年 1~2名の計 2~4名のグループ、又は成人同士 2~4名のグループでお申込みください。グループごとに 1~2艇に乗船します。

■定員/24名

※クラブ員以外の方も参加できます
※未成年者のみで構成されたグループでは申し込みません。

■指導

NPO きよかわアウトドアスポーツクラブ
※カナディアン・カヌーを使用します。

■費用

*大人(中学生以上)/5,000円

*小学生/3,000円

*幼児/1,000円

※上記料金には、カヌー教室受講料/カヌーレンタル料/ライフジャケットレンタル料/シャワー使用料/保険料が含まれます。

■申込方法

uchida@kanagawaclub.com まで、メールにて、

*代表者の、氏名・住所・性別・年齢・携帯電話番号・メールアドレス・FAX番号

*同伴者全員の、氏名・性別・年齢をお送り下さい。先着順に受け付けさせていただきます。

なお、いただいた個人情報は本教室にかかる手続き以外には一切利用いたしません。

■申込受付期間

7月2日(木)~7月26日(日)到着分

まで

※定員になり次第締め切らせていただきます。

■費用納入方法

参加費は当日会場にて、かながわクラブ担当者までお支払いください。

※当日キャンセルされますと費用を全額いただきます。ご注意ください。

■その他

荒天時の対応方法や持ち物・服装などの詳細は追ってお知らせいたします。

■お申し込み・お問合せ先

特定非営利活動法人かながわクラブ
担当 内田 佳彦

〒221-0863

横浜市神奈川区羽沢町 1817

TEL 045-370-3390

FAX 045-381-8884

uchida@kanagawaclub.com

大会・公式戦結果

Top

【神奈川県社会人サッカーリーグ 1部 (KSL-1)】

▼第4節

vs 横浜猛蹴 1-1△

▼第5節

vs 日本工学院 F・マリノス 1-1△

【H20 年度横浜市民大会】

▼5回戦

vs FC ASAHI 2-3●

Youth

【県 CY リーグ】

vs 横須賀シーガルズ 2-0○

【県 U-18 リーグ】

vs 横浜平沼高校 2-1○

vs 横浜清風高校 0-1●



Junior Youth

【県 U-15 リーグ】

vs 横浜中 1-2●

vs 愛川東中 4-0○

【県 U-13 リーグ】

vs 横須賀シーガルズ 0-8●

Papas

☆O-40

【市シニア交歓試合】

vs 神工 OB 7-0○

☆Rec

【県シニアリーグ四十雀 4 部】

vs 鎌倉 0-5●

☆Comp

【県シニアリーグ四十雀 3 部】

vs J クラブ 0-1●

今、グラウンドでは・・・

Top

【県リーグ中盤戦！】

県リーグは6月に2試合行いました。

昨年の優勝チーム横浜猛蹴、さらに今年の県リーグ序盤で首位を分け合っていた日本工学院 F・マリノス、どちらも 1-1 の引き分けでした。ただし、同じ引き分けでも内容がかなり違います。

横浜猛蹴戦は、先制されさらに猛攻を仕掛けられ、劣勢に立たされていたときに、起死回生 11 二木の技ありゴールで引き分けに持ち込んだ試合、日本工学院 F・マリノス戦は、大雨の中ボールコントロールもおぼつかない状態ながら、グラウンドコンディションを考慮した攻めで幾度となく相手ゴールを脅かしながら、結果的にはPK による1点のみで引き分けた試合。

同じ勝ち点1でもかなり意味が違うと思っています。

それでも、今年のかながわクラブは 1-0 で勝利した六浦戦以外は、全て相手に先制されてそこからの逆転、あるいは同点に追いつく試合展開で、昨年にはない粘りを見せています。

リーグ戦序盤にいわゆる強豪チームと

の対戦が終わり、これから先のかながわクラブの戦い方が、重要になってきます。

攻撃面では、すでに昨年の県リーグ戦の総得点を上回る8点を取っており、田村監督の掲げる前からのプレス、あるいは人数をかけた攻撃が功を奏していると言えるでしょう。

守備においては昨年同様堅い守りをしているようですが、単純なミスからの失点もありました。

組織的に守る、これを繰り返し練習して県リーグ後半戦に臨みたいと思います。

また、残念ながら、横浜市民大会は5回戦で敗退してしまいました。2連覇はなりませんでした、また来年度優勝を狙いたいと思っています。

7月は県リーグの予定がありませんが、8月には試合が予定されています。ぜひ、かながわクラブ Top チームの熱い戦いを見に来てください。

(中本 洋一)

【選手紹介⑪】

Top チーム選手紹介第 11 回目は、炎の守護神 GK12 古田勝巳選手です。

今年の県リーグも5戦戦いましたが、12 古田選手抜きでは勝てなかったでしょう。それくらい、今年の 12 古田は当たっています。

もともと GK として必要な判断力、瞬発力はもちろんのこと、なんと言っても相手を怖がらない闘争心を兼ね備えています。他のチームの監督からも県リーグ No.1GK と言われるほどの実力の持ち主で、今年は横浜市社会人選抜にも選出されました。

その実力が県リーグで発揮され、今年はファインセーブの連発、1対1になってもゴールを守る、まさに守護神と呼ぶのにふさわしい活躍です。

ぜひ、12 古田選手の神がかり的なファインセーブにご期待ください。

☆古田選手からのコメント



いつも応援ありがとうございます。GKの古田です。

今シーズンはいつになく個人的にもチームの

にも調子が良いです。

残り試合も「勝利」にこだわったプレーをしてチームに貢献していきたいと思っていますので、今後も応援をお願いします。

Youth

公式戦を3つ戦いました。

私の監督としてのスタンスは、システムやメンバー、戦術を強制することはせず、彼らに提案することから始まります。もちろん彼らからの提案もあります。そんな中で、試合前にミーティングを行って先発メンバーが決まります。今回は「3トップでやってみたい」という彼らの意見を尊重しました。ポジションも、経験したことのないところをやってみたりと、かなりの冒険もしてみました。

とかく目的意識がぼけてしまいがちな年代ですが、端からみているとよく頑張っているようです。

ただ、いい時はいいのですが、劣勢になった時に手こずってしまうのは致し方ないところ です。

チームとしてもう一つステップアップするには、あとほんの少し頑張ればいいのです。

接戦をモノにできるようになれば楽しみです。(内田 佳彦)

Junior Youth

新年度がスタートして 3 ヶ月が過ぎました。

1 年生にとっては慣れないことばかりで生活のリズムをつかむのに苦労してきたと思いますが、それも徐々に落ち着いてくるころだと思います。

そして、いよいよ夏休みに入ります。夏休みは、その過ごし方しだいで、

色々な面で自分自身を成長させてくれる期間となりえます。

ジュニアユースでは、日々のトレーニングや練習試合はもちろんのこと、合宿や宿泊遠征、U-13 リーグ、U-15 リーグ、そして8月末にはチームの1つの大きな目標としている「高円宮杯」が控えていたりと盛りだくさんです。その一方で、お盆時期に約1週間のOff期間を設ける予定でいます。

有意義な夏にするためにも、まずは、各自が自分なりに計画を立てるところから始めて欲しいと思います。

(二木 昭)

小 6

グラウンドで行っていることとは関係ないのですが、私が食事に行ったときのことです。

食事を済ませ、お会計をするときにホールのおばさんが私に歩み寄ってきました。

お「何かスポーツをやってるの？」

高「はい」

お「サッカー？」

高「はい」

瞳を輝かせ

お「みなとみらいで？」

高「いやいや、マリノスじゃないから」

お「じゃあ、どこのチーム？」

高「いえ、プロじゃないから」

どうやらおばさんは、私をプロサッカー選手と勘違いしているようです。ジャージ姿でないにも関わらず。

試合前、対戦相手の選手から「下手そう」、「弱そう」などと思われたら、それだけで「ハンデ」になります。ジャージを着ていても「サッカー選手らしくない」ようではなおさらです。「ボールを扱うしぐさ」、「顔つき」、「ユニフォームの着こなし」、「整列したとき」。やはり、「雰囲気」って大切だと思います。

「雰囲気」だけで相手選手を威圧できるような選手になってもらいたいと思います。(見かけ倒しでは困りますが)

(高田 成典)

小 5

先日、5年生の選手たちに、守備は何のためにするのか聞いてみました。

「シュートを入れさせないため。」

「ピンチにならないようにするため。」

「ゴールを守るため。」

「ボールを奪うため。」

もちろん、どれも間違いではありません。が、私は次のように考えます。守備とは、相手からボールを奪い、シュートを打ってゴールを決めるために行なうのだと。

過去のゲームを振り返ってみても、内容の良かったゲームでは、やはり一人ひとりの意識レベルが高く、どのゲームもボールを奪い返すことに全力で取り組むことができていたように思います。そして、そういったゲームは、たいいてい結果もついてきたように記憶しています。

チームのため、そして仲間のために汗をかくことができる選手は、いつのまにかチームリーダーとなり、みんなから信頼を寄せられるようにもなっていくでしょう。やはり、サッカーは守備から始まるのだと思います。

(鈴木 章弘)

小 4

【秋の大会に向けて】

春の大会から2ヶ月がたち、秋の大会に向けて毎週練習に励んでいます。6月は、雨が多く練習・練習試合が中止になったりと子供たちには少し物足りないかな！？という感じがいたします。

最近の練習内容は、ミニゲームを中心としたメニューから特に変えていませんが1プレー1プレーの質やボールをもらう動きの大切さをしっかり伝えていきたいと思います。秋の大会でよい成績を残すヒントが隠されているので、選手のみなさんは練習の中から見つけてみてください。

【個人面談】

秋の大会前に、練習開始前・練習後のどちらかに選手1人1人と5分程度の

簡単な個人面談を実施したいと思います。この個人面談は、選手1人1人とコミュニケーションをとり1人1人のレベルアップを目的としています。保護者の方々にはご理解ご協力をお願いいたします。

【練習開始時間について】

現在4年生では、忘れ物・遅刻に関しては厳しく対処をしています。予定表に記載されている練習開始時間の15～10分前には練習場につき練習開始時刻には、練習が始められるようよろしくお願いたします。

(丸山 祐人)

小 3

【「トントン」「ガガガッ」「ズリズリ」。】

(学年を問わず)活動前の準備の際に良く聞こえる音です。時には「う〜っ！」なんてうなり声も聞こえ、その後決まって指を痛そうにしています。

実は、これは子供たちがシューズを履き替えるときの様子です。

最近ではシューズ・スパイクもいろいろなデザインがあり、また、昔に比べると軟らかくなったこともあり脱いだり履いたりし易くなりました。しかし、一度結んだ紐をそのままに脱いだり履いたりするものですから、何とか足をねじ込もうとするとこのような音や声が聞こえてくるわけです。

あるサッカー大会で小学6年生を対象に調査した結果によると「紐を緩めて締める準備」がきちんと出来た子は約2割だったそうです。個人的には問題なくプレーできるのであればどのような履き方でも良いと思いますが、“サッカーを行うための準備”と言う意味では足りなさを感じます。

【意識付け】

ここ最近、3年生の皆には「サッカーをするのは自分であること」「そのサッカーをするのに必要な準備は自分です

ること」、要は“自分のことは自分でする”ことを言い続けています。

その一つとして、シューズの紐については「脱ぐときに紐を全部緩めて脱ぐ。履くときにきつく締める」ことを言い続けています。もちろん直ぐにできる器用な子もいれば、時間のかかる子もいます。

申し訳ないのですが、中にはすごくストレスになってしまっている子もいるかもしれません。ですが、急かさず慌てず時間をかけてでも“自分でやるべきこと”を今この時期から行うことで、サッカーに取組む上での準備の大切さを少しずつでも覚えて行って欲しいと考えています。なかなか直ぐに上手に出来ないことで、子供たちには「家でも練習してね」と伝えていきます。

保護者の皆様には長い目で自主性を尊重いただき、少しだけアドバイスとサポートをいただけますと幸いです。

(小野 津春)

幼児・小1・小2

【子どもにスポーツをさせるな】

標題のような少しセンセーショナルなタイトルの本と出会いました。石川遼選手がプロデビューを果たし1年足らずで1億円を稼ぎ出したという報道がなされると世の親御さんは我が子も石川選手のようにしたい(お金を稼いで欲しい)と考え、ジュニアのゴルフスクールが大盛況だという話を耳にします。親が過大な期待を子どもに抱き、そのプレッシャーからか、ジュニアの選手の中にはスコアを改竄するような不届き者が増えているということです。「お父さん、お母さん、それでも自分の子どもにスポーツをさせますか?」と迫る内容になっています。基本的に最近のスポーツ界は商業主義に汚染されていて、本来スポーツの持つ人の心と身体の成長に深く関わっていることが見落とされていることが問題とされています。

具体的には、サッカーや野球が上手くなれば自信がきます。小学校でも

仲間ができ、一目置かれる存在になります。しかし、一方で、自信を持った子どもができない子をいじめたり、横柄な態度に走ったりする傾向が見られます。それは「上手くなればいい」という指導方針が先に立ち、スポーツで何を学ぶかが徹底されていない結果だと考えられます。

【上手くなればいい! ?】

「上手くなればいい」→「試合で勝てばいい(儲かればいい)」という図式が出来上がるとスポーツをすることで得られるのは勝利者の満足のみとなってしまいます。たとえ負けても、全力で戦った充実感、それまでの努力で得られる達成感、勝者を称える気持ち、悔しさと共に更なる努力へのモチベーションなどが敗者にもスポーツをする喜びとして残るはず。本来スポーツの喜びは勝負とは別の次元にも存在したはずですから。ところが、「勝てば官軍」ではありませんが、勝利至上主義(勝つことが大事)では、そのためには手段を選ばず、ルール違反すれすれのプレーや、審判に見られていなければルール違反すら平気で犯すような選手が育っていきます。

その結果がスポーツ界での絶えることのない不祥事の嵐につながっているのです。相撲界の弟子殺人事件や力士の大麻汚染。更に、大麻汚染は力士に限らずラグビーやテニスなど他の種目にも広がり、野球界を揺るがせたのは特待生問題でした。世界的には、様々な種目でドーピング問題が大きくクローズアップされています。スポーツをすることで心身ともに鍛えられるというのは最早幻想なのでしょうか?

【頭の良い子を育てたい!】

この本の中に紹介されている萩中・羽田サッカークラブ主宰の泉優二さんの指導方針は私たちかながわクラブのものと非常に良く似ています。彼は「日本のサッカー少年たちの頭を良くしたいと思っている」と言っています。「小学生のとき

考えてサッカーをやっていなければ、中学生になってできるわけがない。すごく速いスピードで、頭で考えるというより『脊髄で考える』みたいな、そういう速さで考える力を養うには、小学生時代から鍛えなければ無理でしょう。それをヨーロッパではちゃんとやっているんです。」と。

彼の考えは何千人、何万人に一人だけが到達できるJリーグを目標に置くではありません。サッカーに取り組む全ての少年少女が実現できる、それぞれの「成長」を日々の練習の目的にしているのです。先月号にも書きましたが、年代に応じて身につけさせるものはおのずと決まってきます。今は強いボールを蹴ることよりも、たくさんボールに触れることが重要視される時期なのです。

彼はまた次の2点の課題を挙げています。①クラブが子どもたちにどんなチャンスを与え、どうやってサッカーの楽しさに目覚めさせるか。②まともにボールを蹴られないままサッカーから離れていくのではなく、成長と共に、着実に技術力を身につけ、サッカーを愛し続ける選手に育てられないか。これは常にながわクラブでも問題とされていることです。

【試合に臨んで…】

秋の公式戦に向けて少しずつ試合の回数が増えていきます。以前にも書きましたが、決して試合の勝ち負けだけで評価をしないでください。具体的には、どれくらいユニフォームの違う相手に対して、これまで練習してきたことが発揮できるかという視点で見ることをお願いします。試合のなかでは、練習中にできたことが100%できるとは思いません。ただ、練習でできないことは試合では絶対にできません。相手も必死ですし、緊張もあるでしょう。プレッシャーも少なからずあるでしょうから。

では、普段の活動で、何を練習しているのかということです。私自身は、今の時期はドリブルを中心に練習を組み立てています。また、ボールを奪われないように、あるいは逆にどうやってボールを奪うのかという体の使い方について

は練習させています。ですから、それらの点について、どれくらいできているのか、あるいはできていなくても、練習してきたことをやろうとしているのかどうかを確認しています。ボールを蹴ることに關しては、まだまだ本格的には手をつけていませんので、その部分については、今の段階では上手にできないことは止むを得ないと考えています。今後に期待してください。

また、応援についても一つお願いがあります。それは、自分の子だけでなく自分のチームの子どもたちと相手のチームの子どもたち全員に対して、声援を送って欲しいということです。声援の中身についても、「うまくできたら褒める。ミスしたら励ます。」という基本的なスタンスでお願いします。

【サッカー大好き！】

最後に泉さんは子どもたち向けに「サッカー大好き」(岩波ジュニア文庫)という本を著しています。常々私はこの本を小学生の高学年には是非読んでもらいたいと思い、ことあるごとに薦めています。機会があったら是非読んでみてください。

(佐藤 敏明)

Papas

【チームとクラブ 補遺】

先月号の続きですが、クラブについて短く補足したいと思います。

チームが団体競技という特定目的のために行動する集団であるのに対して、クラブは「共通性」を有する人々によって構成される組織です。この共通性については、共通の趣味、宗教、出身など濃淡もさまざまでありますが、単なるサークルや同好の集まりではなく、組織でなければなりません。組織である以上、規則に基づく入退会や組織としての意思決定の仕組み、代表者を選考する規則などが民主的に整備されていなければなりません。

この規則の整備や民主的な執行体

制など組織としての実体を確保するためには、社団法人、財団法人、特定非営利活動法人(NPO 法人)などの法人格を取得することが重要になります。私たちのかながわクラブもNPOとなって早十年になろうとしています。

こうしたクラブとしての体制を確保して初めて、クラブの中に様々な活動カテゴリーを作り、クラブ員のみなさんが多様なクラブライフを満喫できるような環境が整うと考えています。かながわクラブのカテゴリーは、その幅も量も質もまだまだであります。クラブ員のみなさんのご理解とご協力のもと、少しずつでも進んで行ければと考えています。

なお、クラブとりわけ私たちがのような地域クラブとよく似た概念にコミュニティという言葉がありますが、組織としての形態が確保されていないという点で、クラブとは異なります。(もっとも自治会、町内会をコミュニティとすれば若干議論がありましょう。) 日本では、コミュニティというと地域社会、地域コミュニティなど地域関係によるコミュニティ、共同体、共同社会を指していますが、欧米あるいは英語では、地域以外の職業別や宗教などを共通とする共同社会のこともやはりコミュニティと呼びます。これもまた、組織の点でクラブとは異なります。

(茅野 英一)

ヨーガ

【ストレートパーマ】

梅雨ですね。恵みの雨とは思いますが、髪型が爆発系になってしまうのには閉口します。その上、ヨーガのクラスを指導するときにはインカムマイク(頭に固定したタイプのマイク)を着けるので、このマイクの跡が髪にクッキリ。まるでお釜を被ったような妙な髪形になってしまいます。

先日、いつも通っている美容院へ行きました。なじみの美容師さんに相談をしたところ「ストレートパーマをかけるといいですよ。」とアドバイスをいただきました。

た。ならばとトライ。

パーマをかけるのなんて何年ぶりでしょう。ちょっとドキドキです。下敷きの親玉みたいな大きなプラスチックの板に髪を固定されるのかと思いきや、ただ薬液を付けるだけ。もちろんロットを巻くこともしません。「以前あったあの板は？」とお聞きしたところ大笑いをされてしまいました。なんでも、あの板は今ではPL法で禁止されてしまったとか。理由は「あまりに髪が痛むから。」すでに過去のものとなっていたようです。

ふ～む。では、固定されても綺麗になりたい一心で我慢していた人々の努力と労力と費用はなんだったのでしょうか？などと考えているうちにパーマは完了。毛先にはパーマをかけずにおく新しい手法だそうです。確かに、もとの髪の癖もわずかに残っているのでもって自然。あら、素敵！

すご～く気に入りました。でも、あまりに自然すぎて誰も美容院に行ったことに気づいてくれないのがちょっと淋しいかしら？あはは。贅沢な悩みですね。

(伊藤 玲子)

たわごと 理事長の戯言

【珍入者】

日曜日の早朝、5時前のことです。庭から父親の私を呼ぶ声で目覚めました。

実は私の自宅は農家のため、母屋に両親が、敷地内のガレージ(昔の納屋だったところ)の2階に私たち家族が住んでいます(因みにガレージの一角がクラブの事務所です)。

前夜小4の懇親会があったため、正直まだ少しお酒が残っている状態です。

そのガレージに見知らぬ若者が寝ているのです。降りていくとその若者も目が覚めたようで、裸足でぼーっと突っ立っています。彼にとってみれば「ここはどこ？私は誰？」状態です。もちろん私たちにとっては「ここは私んち。あなたは何者？ここで何してんの？」です。

父親は腰が引け、今にも竹槍でつつきそうな雰囲気です。

私のクルマのフロントガラスの上には、本人が買ったであろうビールのロング缶2本と乾き物がコンビニの袋に入ったまま置いてあります。

クルマと壁に挟まれた細い隙間で、靴を脱いで眠っていたようです。

「靴はあるか?」「財布はあるか?」と聞くと、辺りを見回して見つけだしました。

しかし、本人はまだここがどこなのかわかっていません。バス通りまで連れ出してようやく「あ〜・・・」。自宅に帰るつもりが、酔っぱらって迷ってしまい、面倒くさくなって眠ってしまったようです。

念のため名前と連絡先を聞き出し、送り出しました。

結局そのまま寝そびれてしまい、小3の前座試合にはひどい状態で出かけることになりました。

やれやれ・・・。

かながわクラブ・クラブ員専用の掲示板です。クラブからの重要なお知らせが記載されますので、まめにチェックしていただくと早く正確に情報が伝わります。

<http://8610.teacup.com/kanagawaclub/bbs>



☆ハンドブックについて☆

今年度より携帯で見られるように作成いたしました。下記のURLをクリックして下さい。

クラブの理念や指導方針、各種手続き方法、注意事項、スタッフの紹介など重要な情報満載です。是非ご一読下さい。

http://www.kanagawaclub.com/HB/youji_shougakusei.html



